

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 columns: 事業所番号, 法人名, 事業所名, 所在地, 自己評価作成日, 評価結果市町村受理日. Contains details for 株式会社 陽光.

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL, URL address.

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 columns: 評価機関名, 所在地, 訪問調査日. Details for 特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット.

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- 1. 「此处で良かった」と思ってもらえるような介護・支援を目指します。
2. ご本人の持てる能力の活用、個々の個性を活かせるような支援体制を心掛けます。
3. 利用者様の声に耳を傾け、可能な限り要望を受け止め、対応していけるような支援を目指し進んでいきたいと考えております。
4. コロナ禍という状況でもありますが、状況に応じた可能な限りの対応が出来るよう心掛け支援させていただきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 1.ホームの環境と設備等：小平町の中心部、役場や学校に近く、町営の住宅も隣接している静かな住宅地に立地している。海にも近く、山々にも恵まれた自然の豊富な環境下でもある。事業所は平成22年、町の有識者であった代表が、1ユニット9名の利用者を受け入れ、開設された。
2.職員の姿勢・態度：職員は明るく真摯な対応に努め、資質向上の研鑽に励んでいる。また、コロナ禍で訪問出来ない事業所の様子を、定例でお便りを発行し、写真と共に日常生活や健康面でのコメントなどを、事細かに伝えている。
3.家族等の満足度：介護の手厚さ、真摯で丁寧な対応、迅速な連絡・報告、食事への気遣い等、配慮ある支援に満足と好感を示している。
4.運営推進会議開催状況：通例では、家族、地域関係者、行政の参加を得て定例に開催し、日常の様子や運営状況を説明している。今年度はコロナ禍で全て書面での開催となったが、推進会議メンバーからしっかりと意見を聞き取り、運営に活かしている。

Table V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します. Contains 10 rows of evaluation data with columns for item, achievement, and result.

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の制定、施設内3か所(ホール・職員休憩室・事務所)に掲示し、皆で共有する事で一人一人が心掛け実践できるよう努めております。	法人内の事業所共通で、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成し、日常的に共有している。また、定期的に理念を振り返る機会を設け、質の高いサービスが実践出来るよう取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	施設での行事は、コロナ禍において自粛、推進会議においても資料閲覧にて質問を頂く形が余儀なくされているのが現状です。	通例では、地域代表の運営推進会議への参加や、災害時の相互の協力体制等、関係の継続に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎月ケア会議で、認知症についての研修を行い個々への理解を深め、より良い支援に繋がれるよう心掛けております。研修内容に関しては、推進会議・家族様へのお手紙にて通知させて頂いております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進会議には、介護職員も参加し日々の介護支援向上に繋げて行けるよう対応しておりますが、コロナ禍において資料送付にての対応となっているのが現状です。利用者家族様への報告や日々の状態等を実施後送付させて頂き質問疑問等も随時受け付けサービス向上に努めております。	通例では、家族代表、地域、行政から参加を得ながら、定例で開催している。開かれた事業所として、運営状況やヒヤリハット・事故報告・ご家族に伝えたい事などを挙げ、参会者から意見を求め、運営に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議での話し合い、窓口・電話等により相談し意見を頂く等日々の支援に活かせるよう協力関係を構築しております。	通例では、行政の窓口とは、定例の運営状況報告の他、メール・電話での相談や随時指導を受け、運営に活かしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束・虐待等廃止推進委員会を設け3か月に1回実施しております。施設は一般家庭同様に夜間のみ実施しております。ケアについての話し合い・言葉の掛け方など日々の申し送り等で話し合い適切な支援が出来るよう心掛けております。	身体拘束廃止委員会を設置し、定例で開催、内容について全職員に周知している。全利用者の現状の確認と不適切なケアについて、具体的な事例を経過から終息まで職員間で協議し、繰り返す事のないよう周知徹底している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年1回は、外部で行われる研修会への参加をしております。日々の中で、自己を振り返る、又自己診断を通し自己覚知し不適切な言動がある場合は改善する等、支援に生かせるよう対応しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	自分らしく、此処での生活が有意義なものであればを念頭に支援させて頂いております。が、研修会に参加する・学習会で話し合うと言う形には今だ到達していないのが現状です。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時・改定時・解約時には、文書及び口頭にてご理解・納得いただけるよう説明をしております。疑問や質問に関しても随時対応させて頂くように心掛けております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見・要望が有る時には、気軽に伝えて頂けるような雰囲気作りを心掛けております。玄関には意見箱を設置し、運営に反映できるよう努めております。	写真を添えたお便りや電話で、利用者の日常の様子を伝えている。事業所のサービスや職員の介護姿勢等について寄せられた意見を検証し、運営推進会議の場で公表しながら、運営に活かしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年数回、個人面談を実施し職員の要望・意見等を聞く機会を設けております。又、日々の中で気づいた事は発言する事が出来るよう配慮しております。	職員会議や申し送りの場で、職員との意見交換や提案を受け、運営に活かしている。また、個別面談の機会を設けたり、管理者が随時相談を受ける等、壁を作らない働きやすい環境作り配慮している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格手当(資格取得時の補助・取得後の手当等意欲の向上につながるよう努めている。)・年末年始出勤者への手当の支給・退職金制度の導入・年3回の賞与の支給等の対応があり、意欲的に働けるよう対応しております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員のスキルアップに対し、可能な限り時間を作り外部講習の受けやすい環境を作り、知識の向上に努めております。毎月の内部研修では、認知症についての題材で知識を深めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	隣接する有料老人ホームと定期的に情報交換し、サービス向上に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	申し込み時・面接時・入居時・入居後と要望や不安に耳を傾け、家族様と連携し快適に過ごして頂けるよう努めております。又、それがリロケーションダメージから来るものなのかを把握・対応できるよう関係構築に努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	申し込み時・面接時に、希望サービスの相談や必要に応じたサービスが提供出来るよう話し合いを持っております。不安を解消し、希望に近づけるよう支援して行くよう努めております。毎月、記録にて日々の様子を伝えております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	話し合いの中で「何が必要か」を探り、ご本人に応じた形で対応できるよう、日々の様子・会話・状態の把握に努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個々の能力を見極め、出来そうな事に着目し、一緒に行いながら生活しております。役割を持つ事で、生き活きた生活が送れるよう努めております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人・家族・施設と可能な限り情報を共有し、より良い関係でサポート出来るよう努めております。施設での様子に関しては、日々の記録・通信紙にて過ごし方等をお知らせさせて頂いております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	かかりつけの病院は今まで同様に支援させて頂いております。通常時は、家族・友人等の面会は快く迎えられるよう心掛けておりますが、現在コロナ禍においては、リモートでの会話、ガラス越し面会など状況に合わせて対応しております。	馴染みの方が気軽に来頂けるような環境作りに努めており、コロナ感染防止に留意しながらリモートやガラス越し等、多様な面会方法を検討、実施している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	全員が集える食堂ホールにて毎日の食事・おやつ・体操・余暇活動において職員が接点となり楽しい時間を過ごす事が出来るような環境造りに努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	要望が有る時には、入院時の説明等同席させて頂く・他施設へ移動された場合は状況に応じ面会等の対応をさせて頂いております。他界された場合は、葬儀への参列、家族様の相談も必要に応じ対応出来るよう努めております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話・行動・モニタリング等から個々の思いを汲取り、職員間で共有し、その人らしい生活に繋がれるよう努めております。又、ケアプランに反映し希望に沿うことが出来るよう支援しております。	本人からどのように過ごしたいのか、具体的な希望・意向を聞き取る等、家族にも協力を得ながら、情報収集に努め、日々のケア、介護計画作成に活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	どのような状況・状態で一日を過ごしていたのか。家族様・ご本人からのお話や情報提供より知りえた事、生活歴・環境からのアプローチにて把握し、今後の生活に活かせるよう努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の能力に応じ対応しております。職員間での情報の共有・話し合い等その人にあつた支援を心掛けております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	個別ケアより問題提起し、どうしたら良いかを皆で話し合い本人が生活していく為のより良い計画であるよう作成している。	個別ケアによる担当者のモニタリング結果を検証し、本人・家族の意見・要望を考慮しながら、介護計画を作成している。また随時見直しを行い、現状に即した介護計画となるよう努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のケース記録の充実、申し送りにて情報の共有、又個別ケアに反映し、ケアプランに活かせるよう努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々の状態の変化に合わせた対応を心掛け、新聞・テレビ・ネット・本などから知識を取り入れながら手探りではありますが、実践に活かせるよう努めております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍と言う事もあり、閉鎖的になっているのが現状です。夏祭り等の実施に合わせ、地域の食材を提供できるよう努めております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前から通院されておられた医療機関に通えるよう対応しております。特変時・救急時には、救急外来の受け入れ可能な総合病院への受診を視野に入れ支援しております。	本人、家族の要望を伺い、かかりつけ医とのつながりを大切に支援するよう努めている。また、医療機関との協力体制があり、受診内容については記録を基に、職員間で共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員の配置はありませんが、医療的な相談は隣接する有料老人ホームの看護師、又施設医に相談する等、適切な対応が出来るよう努めております。申し送りの引継ぎ時には状態の報告をし、支援が継続できるようにしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、家族様同意の元、施設での日々の状態等を提供させて頂いております。退院時には、現状のサマリーを頂く等状況に即した対応が出来るよう努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいます。	終末期においては、体制が不十分な為行っておりませんが、出来る限りの範囲での協力や医療処置が必要な場合は施設医・主治医に相談、対応する等、当施設で出来る範囲での処置が出来るよう努めております。	契約時に事業所の指針を説明し、状況に合わせて意向の再確認を行っている。協力医療機関、家族と共に終末期を支えるための話し合いを重ねている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時マニュアルを職員休憩室に常備し、いつでも閲覧可能な状態にしております。又、定期的に内部研修にてマニュアルの見なおし・AEDの使い方の確認をする等、発生時に備えております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身に付けるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練の実施、施設内にスプリンクラーの設置等、火災に対して備えております。洪水など自然災害に対しては、避難確保計画書を作成し備えております。	消防署の参加も得ながら、年2回の火災・自然災害を想定した避難訓練を実施している。隣接する同法人の事業所、地域町内会との協力体制も含め、備蓄品の確認を行い、不意の災害に備えている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室は、1人1部屋で、入浴は他者と重なる事無く入浴出来るよう対応。トイレは、危険回避の意味合いから、開閉式カーテンを使用。介助は、近すぎず遠すぎずを心掛け節度ある対応を心掛けております。	職員は接遇や言葉使い、望ましいケアについて定期的に検討している。不適切と思われる対応については、都度、その場で改善に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来る限りご本人の意思を尊重し、選択肢を提示する等確認しながら対応させて頂いております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	会話・日々の様子・身体状態等、個々の思いを汲み一人ひとりのペースに合わせて支援・援助出来るよう努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	可能な方は洋服を選んで好みの物を着用されておられます。介助が必要な方は、季節感のあるものをこちらで選び確認して頂いております。離床時には、整髪整容の声掛け、介助を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の嚥下・咀嚼状態に合わせた食事形態での提供、可能な範囲で準備・片付けに参加して頂いております。お誕生日・祝日には、お祝いメニューにて対応しております。	季節感、盛り付けに配慮し、彩りあるものとなっている。調理の過程や下膳、テーブル拭き等、体調や体力に合わせ、お手伝いをお願いして、食事が楽しみある時間となるよう努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事は記録し把握できるよう対応しております。水分に関しては、時間にこだわらず、飲みたい時やホールで過ごしている時に提供する等こまめに摂れるよう努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時・毎食後の口腔ケアにより、口腔内を清潔に保ち感染症や誤嚥性肺炎の予防に努めております。状態に合わせ、口腔スポンジの活用、舌苔ブラシを使用する等個々に合わせ対応しております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、様子を見ながら声掛けする等対応しております。夜間は、状態に合わせ危険の無いよう支援しております。	個々のタイミングを時間で把握し、声掛けを工夫しながらトイレへの誘導を行っている。排泄時の羞恥心に配慮しながら、出来るだけ自力で行えるよう見守り、支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分・乳製品の摂取を心掛けております。又、可能な方は、歩行運動されておられます。改善されない時は、施設医か主治医に相談し下剤の服用が実際です。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週2回の入浴を目標としておりますが、本人の希望・状態に合わせ支援させて頂いております。	曜日や時間帯を制限せず、出来るだけ利用者の希望に応じて、好みの入浴剤を使用する等、快適な入浴となるよう支援している。同性介助の希望にも対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動量、離床時間の確保により安眠出来るよう配慮、不眠・不穏・帰宅願望等の不穏が見られる方は、個々のペースに合わせ水分補給する等状態に合わせ対応しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情報は、個人ファイルに綴り確認出来るよう対応しております。事故防止の為、服薬前には、記名・錠数等を職員同士で確認し、シートにチェックする等慎重に対応しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴・現在の状態に合わせ個々が出来た事を行って頂くよう対応。やりたい事・興味のある事等を会話から導き出し、充実した生活が送れるよう日々考え支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お天気の良い日には、前庭にて日向ぼっこをしたり、散歩に出かけたりしております。今夏は気温が高く、炎天下と云う事もあり、疎遠になってしまっているのも事実です。	通例では、個別に声がけし、日課として出歩くように努め、近隣へ買い物やドライブに出かけている。コロナ禍で外出が制限されるなか、職員はホーム行事等、楽しみある企画を検討・開催している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理可能な方は、移動販売来園時には商品を選び購入していましたが、コロナ禍においては、買い物依頼を受け支払って頂く等の対応しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自由に使える電話の設置はありませんが、テレビ電話での対応やお手紙の申し出があれば、代筆をするなどの対応もしております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとにホール・玄関など季節に合わせた壁飾りが出来るよう対応しております。又、日々の中で利用者の方々が手掛けた、花紙にて作品を作り園内のあちこちに展示しております。	リビングは採光も良く、温度や湿度が適切に管理された解放的な作りとなっており、利用者手作りの四季を感じる飾り付けや行事写真で飾られ、楽しく生活できるよう工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	動線の確保を基調とし、皆さんがくつろげるような配置、車椅子の方も自身で移動可能な空間を確保しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使い慣れた馴染の家具、椅子小物など使って頂く事で心地よく生活して頂けるよう対応しております。又、仏壇などの持ち込みも可能となっております。	安心して自宅さながらの生活が続けられるよう、居室には家族の協力を得て、昔馴染みの家具や思い出ある物が持ち込まれおり、落ち着いた雰囲気がある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内は、バリアフリー対応、廊下全般には手すりの設置、玄関には靴の脱ぎ履きがしやすいように椅子の設置をしております。居室には、個々の名前のプレートや目印等自分が分かりやすいよう対応しております。		